

令和2年度全国いじめ問題子供サミットに参加して

長野県教育委員会事務局心の支援課

「令和2年度全国いじめ問題子供サミット」がリモートで開催され、全国から194名の小中学生がいじめ問題について意見交流を行いました。長野県からは、御代田町立御代田中学校2年生3名が参加しました。

いじめ問題を児童生徒自らが主体的に考え、活動する取組が全国に広がっています。サミットでの発表を参考に、児童会・生徒会等で取り組んでみましょう。

1 開催日時

令和3年1月23日（土） 午後1時から4時10分まで

2 参加自治体

47自治体（36都道府県及び11指定都市）

3 参加校数（参加児童生徒数）

小学校9校（23名） 中学校62校（171名） 計71校（194名）

参加した御代田中学校の生徒のみなさん



4 概要

前半：いじめ防止に向けた各校の取組紹介

後半：全体交流会（参加校が3グループに分かれ、テーマについてのディスカッション）

(1) 取組紹介（抜粋）

① 御代田中学校の取組

「人権月間の活動から見えた自己のあり方 ～認知症の学習を通して学んだこと～」(別添)
人権及び認知症について学ぶことで、生徒会による主体的な取組が生まれた！

- ・ 認知症について生徒会で4つのテーマを考え、学年を超えて意見や考えを共有することができた。
- ・ 人権を学ぶことで、いじめを許さないための人としての生き方・考え方につながった。

詳細は下のURLでご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/index.html>

② 参加校の取組（児童生徒が主体的に行った様々ないじめ防止の取組が発表されました。）

集会等による話し合いの取組

- いじめ防止集会（「いじめサミット」）
「いじめ」や「ネットの使い方」等について全校でディスカッション
- いじめ対策生徒委員会での話し合い
- いじめをテーマにした劇（人権劇）の発表
発表後、劇の内容について全校でディスカッション

制作活動による取組

- いじめを無くす意思表示の缶バッジ
- いじめゼロかるた
- いじめ防止CM
・ 校内放送用
・ いじめ防止CMコンクールに参加

掲示物による取組

- 一人ひとりのいじめを無くすための決意表明（全校）
- 友達の良いところさがし（全校）
- いじめ0（ゼロ）新聞（児童会・生徒会通信）
- 人権標語（全校）

その他の取組

- いじめに対する意識アンケート
- いじめをしない意思表示のため、ピンク色のものを身に着ける（ピンクシャツデーをヒントに）
- 休み時間に、有志によるいじめ防止の見回り活動
- 生徒による悩み相談
- ネットルールプロジェクト（ネットルールの作成）

(2) 全体交流会

参加者全員が3グループに分かれて、サミットテーマについてディスカッションを行い、最後にみんなの意見をまとめました。

サミットテーマ

『いじめ』って何?～私たちが考える『いじめ』について知らなきゃいけないこと～

① 「いじめ」について必要な知識は何か。



<主な意見>

- ・『いじめの定義』や『いじめ防止対策推進法』など基本的な知識
- ・「傍観者は加害者と同様に悪いということ」
- ・「いじめをする側とされる側の気持ち」



<全体まとめ>

法律などの基本的な知識、どういったことがいじめになるかを学ぶことが必要

② 「いじめ」について必要な知識を身につけるための方法や機会は何か。



<主な意見>

- ・「全校集会で話し合う」
- ・「劇などでいじめの事例をいちからつくってみる」
- ・「人権や道徳の授業などでいじめについてみんなで考えたり、自分がされて嫌なことを書き出して共有する」
- ・「被害者の話を聞くこと。また、加害者の視点に立つ（なぜいじめてしまうのかを考える）ことを通じて当事者意識を持つ」



<全体まとめ>

全校集会や体験談等を踏まえた劇などを通じて、全員で自分事として全校で学ぶこと

③ 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か考えよう。



<主な意見>

- ・「あいさつなど日常の活動を通じて絆をつくる」
- ・「先生や保護者、自分たちが日頃から学校や家庭でコミュニケーションを図り、小さな変化に気付けるようにする」
- ・「いつでも相談できる雰囲気が大事。男女関係なく話すことで、助け合いができる」
- ・「家族や先生と小さな悩みでも気軽に相談できる関係性をつくる」



<全体まとめ>

自分たち、家族、先生との間で、悩みを相談しやすい関係・環境をつくること。そして、いじめについて児童生徒が中心となって学ぶ機会を持ち、みんなで共通意識を持って、地域に向けて発信することが必要

5 サミットに参加した御代田中学校の生徒の感想

「いじめに対する世界観の変化や新たな視点を発見できました。意見を交換することに意味があると感じました。」

「各校の様々な取組や意見を聞くことができ、貴重な体験ができました。」

「他の実践を聞き、学んだことを来年度の人権月間の学習にも活かしていきたいと思いました。」

【お知らせ】

過去の「全国いじめ問題子供サミット」の動画については、下の URL からご覧いただくことができます。
<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDxydiCiWcMf3SdkiLz6iA8>